

教育委員会第2回臨時会会議録

- 日 時 平成28年3月22日(火) 午前9時
- 会 場 市役所501会議室

- 出席教育長 榑 澤 晴 樹
- 出席委員(4名)
 - 教育委員 増 田 友 厚
 - 教育委員 原 拓 男
 - 教育委員 宮 澤 則 子
 - 教育委員 青 柳 淳

- 欠席委員 (なし)

- 説明のため出席した者
 - 学校教育部長 荒 井 修 一
 - 学校教育課長 重 田 善 行
 - 学校教育課主幹指導主事 松 島 恒 志
 - 教育施設課長 神 津 康 志
 - 学校給食課長 荻 原 淳 一

- 職務のため出席した者
 - 学校教育課総務係長 堀 川 守 一

- 傍聴 2名
- 会議の成立 教育長及び4人の教育委員の出席(過半数)
- 教育長招集あいさつ

(1) 協 議 事 項

ア 臼田地区新小学校の建設場所について

- (ア) 検討委員会の「臼田地区新小学校の建設候補地の選定」について
- (イ) 教育委員会で建設候補地を決定するに当たっての確認・検討事項について

ちの子どもを心配するのは当然ですし、これからそういう意見を聞きながら進めていくことが大切だと思います。

原委員

検討委員の皆さんは2年間、時間を割いて慎重に真剣に責任を持って検討していただいた。このことに敬意を表し、感謝します。一番は心労があったことだろうと思います。自分の出身地区のことよりは、臼田地区全体を考えて結論を出さざるを得ないという厳しい選択をせざるを得なかったと思いました。

青柳委員

1つの学校の適正規模はどのように考えているか。検討委員会の中でも2つの学校でも良いのではないかという考えもあった。4人の委員の反対意見もあったのですが、反対意見への対応も考えなくてはと思います。

学校教育部長

平成33年の児童数は推計で550人弱、1学年が3クラスです。2校にした場合、ある学年は単級になってしまいます。2校にした場合、近い将来また統合と言う問題が起きてくるのではないかと考えられます。そこで2校ではなく、1校にし、1学年3学級とするのが適正規模となります。文科省では適正規模は12学級から18学級と示されています。3学級とすることで児童にとっても、教師にとっても切磋琢磨できたり、相談できるので、2校でなく1校に統合することが結論とされました。

棚澤教育長

住民説明会で問題点として出された項目について、教育委員会としてどう考えていくかについて進めていきたいと思えます。

ア 検討委員会の委員に関する意見について、事務局より説明してください。

学校教育課長

—説明— 以下、省略

原委員

各団体の会長名で推薦されているので、その団体の代表としており、検討委員の選出方法は正しかったと判断します。

宮澤委員

学校に一番かかわっているPTAとか保護者の方なども入っており問題ないと思います。

棚澤教育長

検討委員の選任については問題ないとしてよろしいですか。

全教育委員

了承

棚澤教育長

イ 地域住民の意見反映について、事務局より説明してください。

学校教育課長

—説明— 以下、省略

増田職務代理者

小学校や保育園の説明は、どのようにされてきましたか。

学校教育課総務係長

主に授業参観の校長講話の前の時間ですとか、保育園の場合も保護者が集まる機会にお伺いしまして、説明の機会を設けていただきました。

宮澤委員

説明会の時の内容や時間はどのくらいだったのですか。また意見要望などは出たのですか。

学校教育課総務係長

与えられた時間がそれぞれ違いますが、15分から30分程

度でした。内容は4候補地の場所の説明、今後のスケジュール、目指す学校の姿等を説明しました。意見は時間との関係もあり、多く出たところと少なかった所がありました。

原委員 出された意見は検討委員会に報告し、検討してもらい、内容は全戸配布あるいはホームページに掲載しているということですよ。

学校教育課長 住民説明会、パブリックコメント、保護者会等での説明会での意見等は佐久市型論点整理手法でホームページに掲載し、全戸配布の資料にもしました。

原委員 そのようなことであるので、住民の意見は検討委員会にも反映されていると思います。

学校教育課長 先程の宮澤委員の関係で、小学校・保育園で参加していただいた数では、334名、出された意見が38件でした。住民説明会等をする中での意見についても公表させていただいています。

棚澤教育長 地域住民の意見反映については、可能な努力はしてきていると捉えさせていただきますが、よろしいでしょうか。

全教育委員 了承

棚澤教育長 学校現場にいたときのことを思うと、何か学校での情報をプリントなどで子どもを通して家庭に伝える場合、伝わらないことがありました。それは、渡したプリントなど、子どもがカバンや机の中に入れっぱなしで届かないことがありました。学校で渡したものがイコール家庭に伝わったということにならないこともありました。ですので、こちらで発した情報が、内容の把握というレベルでは、家庭に届かなかったという状況もあるかも知れません。現状認識として受け止めなければならないことと思います。

棚澤教育長 次に、ウ 住民投票・アンケートの実施に関する意見について、事務局より説明してください。

学校教育課長 一説明一 以下、省略

原委員 只今の説明のとおり、住民間の軋轢が考えられるので住民投票はしない方がよいと思います。

青柳委員 今の考えでよいと思います。住民投票をどのようなときに行っているかを見ると、以前、市民ホール建設について造るか造らないか2者選択の場合でした。今回は4箇所からの選択ですので、かえって混乱してしまうと思います。

棚澤教育長 当初から住民投票はしないということで、検討委員会で住民の意見を踏まえながら結論を出していきましょうという方向性を持って歩んできました。住民投票をしないということによろしいでしょうか。

全教育委員 了承

棚澤教育長 次に、エ 洪水ハザードマップに関する意見について、事務

- 局より説明してください。
- 学校教育課長
原委員** 一説明一 以下、省略
片貝川については県の管理ではありますが、過去において氾濫したということもあるので、小学校の問題だけでなく、住民の安全性ということからも、市として県へハザードマップの調査をしてもらうよう要請すべきだと思います。
- 棚澤教育長** 防災マップについて誤認識のまま評価がされたという声が届いていますが、正しい認識の上に立って総合的に評価をしたとのことですが、具体的には担当官が出席して説明したのは第何回ですか。
- 学校教育課長** 12月22日の第12回の時です。全戸にもお知らせしています。内容では浸水想定区域内では建築物を建築してはいけないなどの法的制限はないこと、ハザードマップについては、浸水時に浸水の深さを色分けし、円滑かつ速やかに避難の確保等必要な事項を記載したものです。このハザードマップは千曲川流域において100年に1度降ると考えられている大雨が千曲川流域で2日間雨が降り続いたとき、浸水区域を想定しているものです。浸水区域が色分けされた箇所が必ず浸水するわけではなく、又色分けされていない場所でも中小河川により浸水の可能性もあります。
- なお、防災マップは防災面でのソフト対策の観点を中心に作成しているものです。他の候補地の課題にあることと同様、浸水想定区域内にあることは一つの課題であるので、臼田地区のお子さんが通う学校がどの場所になることが一番良いか、総合的に判断し、検討委員会で判断していただくこととなります。ということでお知らせしています。
- 棚澤教育長** 誤認識がないためにも12月22日の説明があったということです。もう一つとして、片貝川のハザードマップ作成については、市民の安全ということからも市から県の関係機関へ要請していくというように考えたいと思いますが、その方向でよろしいでしょうか。
- 全教育委員
棚澤教育長** 了承
次に、オ 評価結果・評価方法に関する意見について、事務局より説明してください。
- 学校教育課長
原委員** 一説明一 以下、省略
評価方法を検討委員会で決めて、全員が投票した結論だと思っています。私もこの方法しかなかったであろうと思いますし、この方法が一番良い方法だと思います。
- 青柳委員** 検討委員会では5つの観点の評価基準についてはどのような意見があったのですか。
- 学校教育課総務係長** 最終的な評価方法は3段階で、◎が3点、○が2点、△が1点というものでした。検討委員会の中で3段階でなく5段階の意

意見も出ましたが、誰が見ても分かりやすい評価であるためには3段階の方が良いのではないかという意見をいただき、3段階評価となりました。得点ですが、仮に5点、3点、1点というようにした場合に、得点の差が大きく開いてしまうということも考えられるため、3点、2点、1点ということに決めていただきました。

学校教育課長 安全性についても、他の観点すべてに関係するのではないかと
言うことで、安全性という観点は必要ないのではないかという
意見もありました。しかし、検討委員会の中で、場所につい
ての安全性は必要だということで、最終的に5つの観点となり
ました。

宮澤委員 5つの観点で具体的で分かりやすい評価で良かったと思いま
す。

棚澤教育長 評価方法については良い方法であったとまとめてよろしいで
しょうか。

全教育委員 了承

棚澤教育長 次に、カ 通学の安全確保に関する意見について、事務局よ
り説明してください。

学校教育課長 一説明一 以下、省略

宮澤委員 望月地区の統合の時も、通学路の安全と言うことは最後まで
ありました。この4kmという問題では、4kmぴったりで切
ることなく柔軟に考えてもらってありがたかったです。通学路
検討委員会というようなものを立ち上げ、この反対の13人
の方にも入ってもらって一緒に考えてもらってどこが危険で、ど
こをどうしてもらいたいのか具体的に考えてもらうのが良いと
思います。

原委員 候補地の評価で安全性が一番重要度が高かったのは当然だと思
います。今後、バス通何kmと言うことも含めて、通学につ
いて各方面と十分検討することを強く要望します。

増田職務代理者 佐久平浅間小学校の時、検討の組織のありようにつ
いて、また、通学について全体組織の中でどうであったのですか。

学校教育課総務係長 佐久平浅間小学校についてですが、通学路検討委員会は平成
23年7月に設立されています。委員については、委員長、副委
員長はPTA会長の推薦でした。他に、教頭先生、長土呂地区の
委員、住吉地区の委員、計21人の委員で組織されています。そ
の後、現地視察と言うことで危ないと思われる場所18箇所の現
地確認をしています。そして、平成24年11月に仮の通学路と
いうことで岩村田小学校長より連絡がありました。

棚澤教育長 当時の岩村田小学校長でしたので補足します。現地へ足しげ
く通い検討をしてきました。何度地図を書き換えたか分かりま
せん。少し大回りになっても安全の方が良いのではないかと等議
論を重ね、ここに信号があつたら良いねとか出され、開校する

までに何と3箇所信号が設置されるようになりました。現地視察では、公安委員会の方もいました。その方は、最初はスクランブル交差点からこの距離でもう一つ信号を設置するのは交通渋滞などが考えられ無理ですよと言っていました。安全を優先するという観点から、信号が設置されるようになりました。色々な立場の方の協力でできた結果です。世の中の交通事情が変化していきますから、通学路の検討は一度行えば終わりではなく続けていき、必要が生じたときに動かなければならないのです。臼田地区の通学路についても場所が決まったら、この地区の子ども達はどのように通ったら良いか知恵を出し合いながら子ども達にとって望ましい通学路が設定され、安全対策がされていく、それが開校までになされる必要があります。色々な声が届いていますので、できることを考えていかなければならないと思います。

増田職務代理者 通学上の不安があるので反対であるという意見があります。通学路の整備に関する要望書、署名を集めた皆さんの重い思いの中に、子ども達が安全に通学できることへの思いがあろうかと実感として感じています。冬の寒い時に3kmも4kmも小学1年生の子を歩かせるのは忍びないと、途中には踏切もあるし、国道141はあるし心配だということは同感です。私どもが重く感じ取ることが大切だと思います。仮にコスモホールの西にできたとしますと、切原小学校に通っている子ども達は良い環境にあると思っていました。それは大きな誤解でした。上小田切の新田の方は集落が切れるところが4kmあります。パラボラアンテナに行く曲がり角の家がありますが、それより手前でも4kmはあります。同じように青沼小学校では、岩水から通っている子どもも4km以上です。入沢の奥の赤谷からだと4.5kmの距離になります。田口小学校では離山から新小学校まで約4kmです。清川も同じくらいです。新海神社の鳥居の辺からも4kmあると思います。丸山へ行けば、それ以上になります。4校を一つにまとめると言うことは、そのようなことに十二分に配慮をして統合するのだということが前提となると思います。先程、佐久平浅間小学校の話がありましたが、臼田の場合は一段と広い範囲でのことになりますので、地域の皆さんやPTAの皆さんに入ってください検討をしながら子ども達の安全な通学について考えてもらえればと思います。安全確保のために予算が関係すると思います。重点的な予算配分を行政としても考えていただき、みんなで安全な通学路を考えていきたいと思っています。

青柳委員 通学の安全性は保護者としては一番心配なことだと思います。実際に現地を歩いて考えていく、また、スクールバスについても柔軟に考えていくことを大切にして欲しい。地図で見たとき

東西に長い臼田地区です。4候補地どこでもほぼ臼田の真ん中となっているように感じました。三分の所、三反田の所など歩道が切れていたり、ないところもあり、大変なことだと思います。青沼から来る場合も安全とは言えない。勝間の東側は斜面になっていて、西側は歩道がついています。三条大橋を渡ってから信号を渡らなくてはならないので危険なことも多い。現地を見るのが大切であることを改めて思います。歩道の整備、横断歩道を付けてもらう、歩道橋についても検討していただく、あるいは歩車分離信号も検討していただく等十分配慮していただくことが必要と思います。

原委員

佐久平浅間小学校の場合、信号が新たに3つ付いたという話がありました。小諸方面に行くバイパスがありますが、ケーズデンキの交差点の信号は以前は普通の信号でしたが、小学校ができてから歩行者優先の信号に変わりました。歩行者が東西に渡るときに10秒先に青になり、左折の巻き込み事故を防げるという信号になっています。予算のこともあるがそのようなことも含めて検討するべきだと思います。

棚澤教育長

アオキの所に出るいわゆる長道を通ると距離が短くて良いのですが、道幅が狭いので広げるためには何軒も移転してもらわなくてはならないことになります。結論的には不可能でした。よって長道は通学路とはしないことになりました。

現地を見ながら進めるのですが、予算については特段な配慮をお願いしていく。無理なこともあるだろうから、その時は、第2、第3の選択肢を作りながら考えていく、と言うことで教育委員会でも進めていくということを確認したいと思います。

棚澤教育長

次にキ署名の扱い、検討継続を望む意見について、事務局より説明してください。

学校教育課長

—説明— 以下、省略

原委員

検討委員の皆さんは2年の長い時間を掛け、あらゆる面で真剣に慎重に責任を持って検討をされてきたと思います。したがって、検討委員会の結論を尊重すべきだと思います。賛成意見の547番にあるように、物事を決めるには100%全員が賛成と言うことは難しいと思います。しかし、この建設問題を今決めなければこの後10年以上は新しい小学校はできないと思います。一番影響を受けるのは子ども達です。子ども達の立場に立って今決定すべきだろうと思います。

青柳委員

候補地の4箇所を見て感じたことは、ここが絶対良いと言う場所はないと感じ、相対的に評価して決めなければならないと思いました。観点から見てもハザードマップのことが出ましたが、それだけで決まったのではなく、コスモホールの西側が安全性、環境、経済性・工事の円滑性において優位に立っています。あいとびあ臼田の東側が、まちづくり・地域づくり、通学

で優位に立っています。このような相対的な中で結論が出されています。

増田職務代理人 平成27年度中に結論を出し、新小学校が開校は何時になりますか。

教育施設課長 用地交渉がどう進むかが大きな要素にはなりますが、1年程度で用地交渉がまとまったとして、平成34年には開校できるのではないかと思います。開校時には佐久平浅間小学校と同じようにグラウンドはまだできていないと言う状況になるかと思っています。

増田職務代理人 切原小学校の北側校舎は昭和46年竣工の建物です。冬場は廊下などは寒くていられないくらいです。教室にもストーブを焚いても環境が良くないという状況です。臼田小学校では、夜になるとコウモリが出るんですね。どうやったら退治できるか相談を受けたことありました。このような状態が臼田の小学校の状況です。このような現状について教育施設課ではどのように考えていますか。

教育施設課長 臼田の4小学校について、校舎棟で青沼小学校は39年、臼田小学校が48年経過しています。体育館については青沼小学校では31年、田口小学校で62年を経過しており、耐用年数を経過している学校があります。構造については耐震化されています。水道、暖房など設備は老朽化が進んでおり、学習環境を整えるために修繕を進めたいと思っています。

学校教育部長 現在、佐久市内で昭和40年代に校舎が建てられたのは、岩村田小学校、青沼小学校を除いた臼田地区の3小学校です。岩村田小学校はすでに改築が進んでいます。青沼小学校は昭和52年です。先ほど出されたように老朽化が進んでいるということで、児童の学習環境を考えれば早く改築に取りかかっていた方が良く考えます。

棚澤教育長 検討継続ということは、継続することにより建設時期が遅れる影響受け、その様なことがあってはならないという事態に直面しているということで思いは理解しながらも、より早い建築が望まれるということを優先して整理をしたいと考えますが、よろしいでしょうか。

**全教育委員
棚澤教育長**

了承

「臼田地区小学校施設整備検討継続に関する要望書」に5項目あります。このことについて協議を進めたいと思います。

1 平成29年度内臼田インター開通、並びに県道の開通にあたり、環境・交通量の変化が教育環境・安全面に及ぼす影響から候補地の再検討の要望。

2 同臼田インター開通により、中学校の登下校における現場検証・視覚調査の要望。

1、2について、事務局より説明して下さい。

学校教育課長 臼田インター開通に伴って交通量の変化に対しての安全対策等講じることは重要です。ただ、開通するのを待って、しかも中学生の登下校状況を見てから建設候補地を再検討すると言うことは、あまりに時間がかかり、現小学校の老朽化が進む中、少しでも早く新校をとという臼田地区の皆様の切実なる願いに応えられません。多くの皆さんの智恵を重ね、危険性を予見し、安全対策を検討したいと考えます。

榑澤教育長 事務局からの説明で了解ということによろしいでしょうか。
全教育委員 了承
榑澤教育長

3 まちづくりと小学校建築のメリット・デメリットの再検討の要望について、事務局より説明してください。

学校教育課長 教育の場がどこにあるのが良いかと言うことはそれぞれの考えがあり、結論することは難しいと思います。今回検討委員会で建設候補地についてメリット、デメリットについて総合的に判断していただき、建設候補地を1箇所絞り込んでいただきました。その結果を尊重し教育委員会で決定してまいります。

原委員 検討委員の皆さんは、今まで真剣に慎重に責任を持って検討してきました。我々も皆さんの意見を聞きながら進めて来ました。したがって課長の説明の通りが良いと思います。

榑澤教育長 事務局からの説明で了解ということによろしいでしょうか。
全教育委員 了承
榑澤教育長

4 小中学校の通学路の統一化の要望について、事務局より説明してください。

学校教育課長 検討委員会で中学校や周辺の公共施設を含め、各候補地を総合的に評価し、コスモホールの西側が候補地として選定されました。小中学生の通学のクロスすることにもメリットや課題があるかと思えます。検討委員会の結論から教育委員会で候補地を決定し、その後に通学路の選定や安全対策の具体的検討に入ります。

榑澤教育長 事務局からの説明で了解ということによいでしょうか。
全教育委員 了承
榑澤教育長

5 片貝川の浸水想定区域の調査の要望について、事務局より説明してください。

学校教育課長 片貝川に限らず、河川関連のハザードマップがあれば防災対応に有効であろうと考えます。片貝川については河川管理者である県に問い合わせたところ、ハザードマップ作成の諸資料はなく、浸水想定区域の調査は実施していないとのことでした。

原委員 先程と同じように県に対して、市として全市民の安全な生活のためにハザードマップ作成について強く要望して欲しい。

増田職務代理者 1に関連して県下で同じようなケースがある学校について、どのようであるのか調べて見て欲しい。

学校教育課長 県で公表されているデータでは、現在5,000台であるの

がインター開通によって8,000台になるという予想とのことです。

棚澤教育長

インター近くの学校の状況について情報を得ておくことは今後の取組として必要なこととしたい。

学校教育課長

先程の5,000台から8,000台になるという資料は、平成42年全て整備されたときの上小田切臼田停車場線のことで

棚澤教育長

建設候補地について検討委員会で結論としているコスモホールの西側について、教育委員会としての考え方はいかがでしょうか。

原委員

各団体から会長名で推薦をしていただいて、それによってその団体で一任をされて選出された検討委員の皆様方は、候補地の選定にあたり、自分の時間を割き、2年という長い時間をかけて臼田地区の子ども達のためにあらゆる面で慎重に、真剣に、責任を持って議論、検討を重ねてこられたと思います。まず、そのことに敬意を表し、感謝申し上げたいと思います。時間的にも体力的にも多くのご苦勞をされたと思いますが、1番の苦勞は心勞ではなかったかと推察いたします。

ご自分の出身母体のことや、地域を優先的に考えても不思議ではないかもしれませんが、しかし、検討委員会の皆さんは、それを最優先に考えることなく、臼田地区全ての子ども達のことを考えて結論を出さざるを得ないという、大変厳しい、そして重い選択をせざるを得なかったと思います。

コスモホールの西側を候補地として決定することの賛否について、投票で行うことを全員が了承して行い、最終結論を出したことも、この方法しか無かったでしょうし、1番良い方法だったと思います。物事を決めるにあたって、100%全員が賛成というのは難しいと思いますし、特にこの問題はそうだと思います。

臼田地区新小学校建設というこの問題を、今、決定しなければ恐らく今後10年以上、新小学校はできないでしょう。これは、他市でもそういう例があり、結局1番影響を受けるのは子ども達です。

以上の理由で、私は検討委員会が様々なルールに沿って1箇所

に決定したコスモホールの西側に新小学校を建設することに賛成です。

宮澤委員

安全・安心な通学方法等について、今後、各方面の皆さんと検討することを強く要望いたします。

これだけ時間をかけて、検討していただいた検討委員会の方たちが出した結果を尊重し、原委員と同じ意見です。

反対意見のご意見も、親として、母親として、共感する部分もたくさんあります。そのことも大事にさせていただいて、ご意

見を聞いて、また、これからの課題として検討していく必要があると思いますので、それもよろしくお願ひしたいと思います。

青柳委員

通学路の安全確保について十分努力する。文面については検討するとして、そのところを付帯意見に付けていただければ良いと思います。

増田職務代理者

検討委員会の皆さんは、本当に真剣に重い課題に向かってきちっと整えた討論を重ねてくださったと私は実感しております。十分な対応をしていかななくてはならない要素が色々あるわけですし、そういう件も十二分に加味いたしながら、検討をもう少し先に延ばして欲しいというご意見等含めまして、その背景にあるのは、ほとんど多くは、子ども達が安全に、事故なく学校で学べる体制をどう作ったら良いのかという、これは一部の地域に限ることではなくて、臼田地区全体のことを憂いながらのご意見であろうというふうに思います。それは私が当初申し上げたとおりです。

全体に危険な要素はたくさんあるわけで、力を集めながらみんなでも対応をしていくという体制を作りたい。かたやさっき質問にお答えいただいたんですが、建物が老朽化している。私共、学校訪問ということで、色々な学校を訪れますから、みんな共通して感じていることですが、とりわけこの4小学校については老朽化しておいて、これをあまり先に完成がまた10年後とかですね、15年後とかいうんじゃないで、早く学べる環境を整えたい。

先般も、私はたまたま卒業式で始めに佐久平浅間小学校へ行きました。きちっと整ったところの子ども達が一生懸命学んでいるその姿に出会いました。そして、最後は田口小学校でした。19日の日です。やっぱり手を加えてはいただいていますけれども、もっともっと古いものについては、手の施すことがあるということを感じておりまして、子ども達の環境を早く整えていくことが良いのかなと、色々な思いが併せてありまして、あんまり先延ばしするのは得策ではないという私の中です。検討委員会の結論を尊重させていただきながら、早い時期に子ども達が安心して学べる環境を整えたいと願ひます。

棚澤教育長

本日の臨時教育委員会ですが、建設場所ばコスモホールの西側ということにしたいと思いますが、よろしいでしょうか。

全教育委員

了承

棚澤教育長

只今の意見等をまとめさせていただき、明日、定例の教育委員会に提出したいと思ひます。改めて見ていただき教育委員会の最終結論としたいと思ひます。

以上で本日の臨時教育委員会を終わりとします。

終了時刻 午前10時58分

佐久市教育委員会会議規則（平成17年教育委員会規則第2号）第21条の
規定により署名する。

教育長..... 榑澤 晴樹.....

教育長職務代理者..... 増田 友厚.....

教育委員..... 原 拓男.....

教育委員..... 宮澤 則子.....

教育委員..... 青柳 淳.....